

大会に参加する皆さんへ（関係者へご周知ください。）

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 健康管理として、体調のチェックシートを活用し、大会14日前からの健康状態を観察すること。（参加団体は選手から提出を受けたチェックシートを大会終了後、1か月間保管する。）
- 大会当日、受付で検温を行う。37.5℃以上の発熱がある場合は入場を禁止する。
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること

参加者が競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 競技中、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - 競技後は呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - 競技前後など、マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 会場内（とくにプールサイド）に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

参考資料 公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
公益財団法人日本水泳連盟 医事委員会 水泳活動におけるCOVID-19対策の留意点